

全国の皆さん ！！

10月22日、23日、川原（こうばる）でお待ちしています！！

石木ダム建設絶対反対同盟

長崎県東彼杵郡川棚町川原（こうばる）、九州のマッターホルンと呼ばれる虚空蔵山（通称「こくんどだけ」）を源として流れる清流石木川、ここに長崎県が石木ダム建設を計画してから半世紀がたちます。

毎年5月末にはホタルが乱舞し、カワセミやカスミサンショウウオなど清流を象徴する多様な生物が生息する石木川、上流地区には農林水産省の棚田百選の地もあります。この素晴らしい石木川の自然をダム建設から守ろうという機運が高まって、地元川棚町、佐世保市に続いて長崎市でも今年8月20日に市民の会が設立されました。

石木ダム予定地の住民13世帯と上流木場地区住民の一部で構成している石木ダム建設絶対反対同盟は、「祖先から受け継いできた素晴らしい生活の場が、必要性のない石木ダムによって奪われてはならない」と、実力阻止を伴う反対運動にどっぷり浸かって40数年になります。昨年は付け替え道路工事を阻止し中断させていますが、長崎県が土地収用法による事業認定申請を九州地方整備局に行っていますので、いよいよ決戦の時が近づいています。

石木ダムも国による事業見直しの対象になりましたが、検証・検討は、最初から「石木ダムありき」で、まったく話にならないものでした。石木ダム事業に不審を抱いている私たちは、理論武装するために専門家の協力を得ながら、「市民の手による石木ダムの検証結果」をまとめました。石木ダムは利水治水の両面で不要であることがあらためて明らかになりました。しかし、長崎県は全く耳をかさず、今年7月27日に「石木ダムがもっとも優位」として事業継続を国に報告しました。

ダム建設反対運動に関わっている全国の仲間のみなさん、10月22日に川棚町で開催される水源開発問題全国連絡会総会・懇親会、翌23日の現地見学会と佐世保市で開催される「本当に必要？ 石木ダムはいらない！ 全国集会」へぜひご参加ください。佐世保市での開催は、「佐世保市の水は足りている。石木ダムは必要ない」という真実を一人でも多くの佐世保市民に分かってもらうために計画しました。この全国集会での訴えが、佐世保市民に浸透していくことを期待するものです。

現地の実状もご覧ください。きっと何か得るものがあると思います。そして、私達にもみなさんの知恵をかしてください。

交流をしましょう。総会の後に懇親会を準備しています。現地の川原公民館で地元のダム反対者も交えて田舎料理でもてなす予定です。

皆さんのお越しを心からお待ちしております。



この美しい故郷を沈めさせない！！



付け替え道路工事を実力阻止